

1
3
23

東 京 圖 書 館				
三	二	二	一	
冊	三	架	函	類
	号			

刑 律 明 要

近 藤 圭 造 譯

中

刑律明要卷二

三河

近藤圭造

抄譯

人命

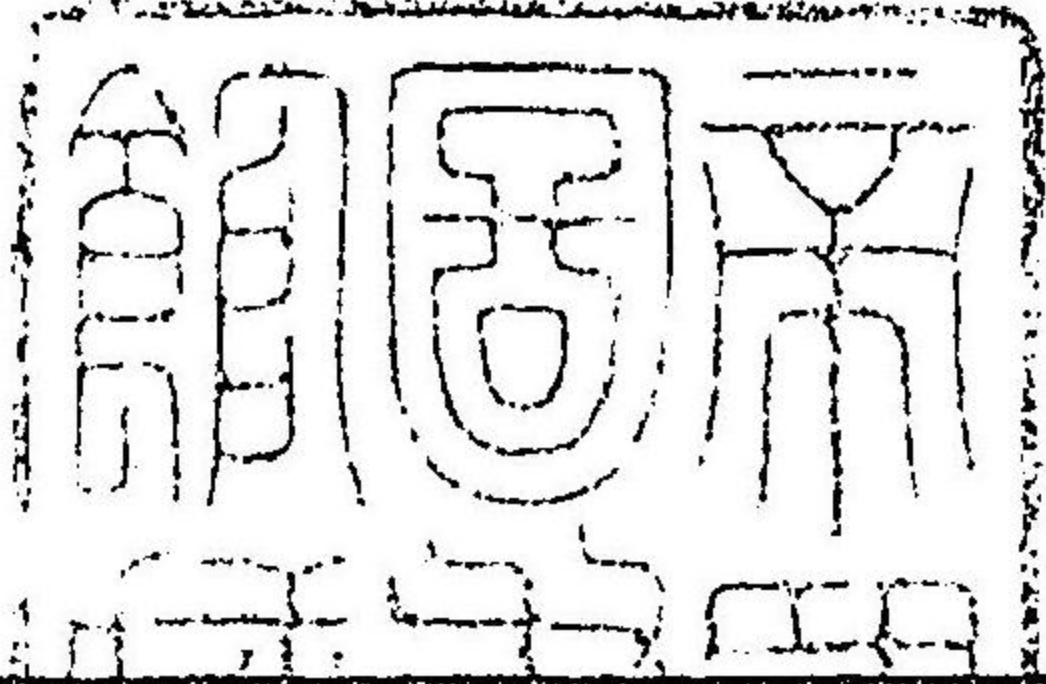
圖賴

命案中、屍ヲ以テ、人ニ圖賴スル者ハ、此惡俗
痛懲スベキ者ナリ、人ト仇隙アリ、之ヲ藉テ、陷

害スルニ非レバ、人ト争訟シ、勝ヲ制シ難キヲ慮

リ之ヲ以テ、搗抵ル、甚キハ人ヲ殺シテ圖賴ケ銀

錢ヲ詐取シ、家財ヲ搶奪ル、更ニ他ノ屍ヲ冒リ親



屬トナシ、謀殺ト誣告スルアリ、種々奸刁名狀ス
 可ナシ、但人ニ圖賴スル者ハ、必ず打死殺死、或ハ
 威逼シテ死スト、捏告シテ、自ラ一段ノ根因ヲ説
 出サント要ス自ラ干証アリ、本官其根因上ヨリ
 詳察シ、其干証口中ヨリ、研究セバ、圖賴ノ真情自
 然ニ敗露レ、圖賴ノ情既ニ真ナラン、或ハ已ニ死
 シテ、未ダ葬ザルノ屍ヲ將テ、人ニ圖賴シ、或ハ既
 ニ葬ルノ屍ヲ將テ、人ニ圖賴シ、或ハ其親屬ヲ故
 殺シテ、人ニ圖賴シ、或ハ圖賴ノ人自告シ、或ハ害
 ヲ被テ、圖賴ノ人ヲ告グ、問擬スルニ、輕重ノ不同

アリ、大約已ニ死スルハ、既ニ葬ルヨリ輕シ、已ニ
 死スルノ屍、又尊長卑幼ヲ以テスルハ、罪杖ニ止
 リ、或ハ卑幼尊長ヲ以テスルハ、分テ輕重ヲ為ス、
 既ニ葬ルノ屍モ、亦別アリ、皆棺ヲ開テ、屍ヲ見ル
 ヲ以テ、輕重ヲ為ス、故殺ノ屍ノ若キハ、止ダ祖父
 母、父母、子孫ヲ故殺シ、家長、奴婢ヲ故殺スルアリ、
 是ニ反スレバ、不赦ノ條トス、圖賴ノ論ズル所ニ
 非ズ、其平人ヲ故殺スルモ、亦正條アリ、人告ニ至
 テハ、亦自告ヨリ輕シ、人告ハ止ダ、以上ノ尊長、卑
 幼ヲ將テシ、及ビ卑幼尊長ノ已ニ死スル屍ヲ將

テシ、祖父母父母ト家長子孫奴婢ヲ故殺スルノ
 屍ヲ將テ、圖賴スルノ律ニ就テ論ズ、自告ハ其告
 ル所ノ輕重ニ隨ヒ、並ニ平人ヲ誣告スル律ヲ以
 テ反坐ス、若シ其屍ヲ指テ、財ヲ詐ルハ、賊ヲ計テ
 竊ニ准ジ、屍ヲ指テ、財ヲ搶スルハ、白晝ノ搶奪ニ
 准ズ、若シ卑幼奴婢等ヲ殺シ、圖賴シテ財ヲ詐ル
 ハ、故殺恐嚇ヲ以テ重ニ從テ科斷ス、一切律例ニ
 於テ、詳ニ致スベシ、○按ズルニ、吳下ニ一種、他ノ屍
 ヲ買ヒ、假傷ヲ造リ、人ニ圖賴スル者アリ、其屍冬
 月新墓中ヨリ盜テ掘出シ、皂髻五搭、蘇木等ノ藥

物ヲ以テ、青赤ノ諸傷ヲ造成シ、奸人ニ賣與シ、仇
 家ヲ誣告シ、忤作ニ賄通シテ、扶同ヒ捏報ス、或ハ
 忤作自ラ造賣シ、藉テ重利ヲ獲アリ、傷ヲ驗スル
 ハ、必ズ其手ニ出レバナリ、故ニ大膽之ヲ為ス、其
 昏贖ノ官、覺察スル能ハズ、大獄ヲ証成スル者、往
 タ之アリ、凡ソ此等ノ屍ヲ買者ニ遇、バ、其告ル所
 ニ隨テ、坐スルニ本條屍ヲ賣者ヲ以テシ、棺ヲ開
 クノ律ニ比照テ、之ヲ重辟ニ擬バ、庶クハ警ル所
 ヲ知ラン、

威逼

凡ソ自盡ノ中人ニ威逼シテ死ヲ致ス條アリ、自
ラ其生ヲ輕ズル者ト異ナレバナリ、然レ威逼ハ、
實ニ畏ベキ威アリテ、之ヲ挾制セバ、方ニ威ト言
ベク、實ニ堪ザル逼アリテ、之ヲ窘辱セバ、方ニ逼
ト言、ベキヲ要ス、若シ威スベク、逼ベキノ實跡ナ
クバ、槩シテ此條ニ坐ス可ラズ、律中杖埋シテ、軍
ニ充ルト、絞斬ト輕重ノ別アリ、戸婚等ノ事ニ因
テ、威逼シテ死ニ致ス如キハ、杖一百、並ニ埋葬十
兩ヲ追ス、若シ期親ニ威逼シテ、死ニ致ス者ハ、絞
シ、大功以下ハ、違減ス、若シ姦盜ニ因レバ、姦ノ成

否ト、財ノ得否ニ論ナク、皆斬ニ坐ス、若シ殴打威
逼シテ死ニ致スハ、致命ノ傷、及ビ殘廢篤疾アリ、
其自盡ト雖モ、埋葬ヲ追スルヲ除キ、仍ホ邊衛ノ
軍ニ充ルニ擬ス、子孫妻妾、威逼ノ條ニ至テハ、俱
ニ重辟ニ比依スルアリ、此非常ノ事、具論セザル
可ケンヤ、鴻按ズルニ、婦人人ト通姦スルハ、原和
ヲ以テ論ズ、若シ羞ヲ含ムヲ以テ、自ラ縊ルハ、止
ダ姦通ニ照シテ罪ニ坐ス、何ノ威逼ノ事アラン、
彼ノ訟師、影ヲ捏、沙ヲ搏ツハ、深ク信ズ可ラズ、
衆証不明、顯カニ實據アルヲ須テ、後擬スベシ、

自盡

夫自盡ニ男子アリ、婦人アリ、婦人ノ自盡ハ、或ハ姑嚴ニシテ毆辱時ニ加ヘ、或ハ夫恐ニシテ苛刻ヲ以テ待ス、此自盡ノ憫ベキ者ナリ、若シ姑媳彼此唇ヲ反シ、夫妻偶爾一角口シ、妯娌街鄰ト争詈シ、一時憤激シテ、生ヲ捐ルハ、悍發惜ムニ足ナキ者ナリ、其女子ノ自盡ハ、晚母恩ナキニ非レバ、白璧玷タル有カ、男子ニ至テハ、或ハ饑寒交迫リ、貧苦無聊ナルカ、或ハ私債ト、官錢償還措ナキカ、此亦自盡ノ憫ベキ者ナリ、若シ其微嫌小隙ニ、身ヲ

彼者ノ家ニ殞シ、恨ヲ飲ミ、仇ヲ訂シ、命ヲ伊人ノ地ニ畢リ、詐害ヲ希圖シ、名ヲ借リ、忿ヲ洩ス、為ニ黨ヲ勾シ、財ヲ劫メ、控ヲ具シ、冤ヲ呼ビ、詞ヲ疊シ、産ヲ破ル、此又刁惡ノ惜ムニ足ナキ者ナリ、其小兒或ハ湯火ニ罹リ、或ハ淹溺ニ遭ヘバ、究テ足ヲ失シテ、坑ニ墮チ、井ニ墜ル者ト等シ、豈自盡ヲ以テ、律スルヲ得ンヤ、良有司親ヲ馳セ、速ニ驗シ、其死ニ因テ之ヲ酌奪スベシ、情憫ム可アラバ、量ヒ、答責ヲ加ヘ、重クンバ、葬埋ヲ以テ、斷シ、地下ノ魂ヲ慰セン、惜ムニ足ザル者ハ、屍親ヲシテ、殯殮セ

シメ、一概ニ株連ヲ准セズ、人間ノ繫ヲ杜グ、此ノ如クバ、刁風自ラ息ミ、人モ亦自ラ其生ヲ重ゼン、鴻シ東シニアルキ、生ヲ輕ンズル者、郊最モ多シ、蓋シ地方凋瘵、百姓貧苦、原有生ノ樂ヲ知ラズ、之ヲ兼ルニ風俗頑悍、素鬪争ヲ喜ミ、並ニ禮讓ノ何物タルヲ知ラズ、家人父子、頃刻寇讐ニ變ジ、郷里ノ親朋、樽俎干櫓ヲ興スベシ、梁ニ懸テ自ラ縊ルハ、日トシテ聞ガルナシ、頸ヲ刎、河ニ投ズルモ、時トシテ有リ、鴻竊ニ之ヲ憂ヘ、因テ自ラ念テ曰ク、教ヘズシテ犯スハ、父母ノ罪ナリ、教テ從ガルハ、子

弟ノ過ナリ、然ル後、吾法ヲ行ハ、彼誰ヲカ尤ン、是ニ於テ大ニ告示ヲ張り、編シテ歌詞ト為シ、徧ク郷村ニ貼シ、里巷ニ傳播シ、婦人女子ヲシテ、咸シ孝敬慈讓ノ貴ヲニ足リ、忤悍潑ノ耻タルヲ知リ、商農工賈ヲシテ、咸理ヲ守リ、分ニ安ズルノ榮タリ、鬪狠鬻競ノ辱タルヲ知シム、先ヅ其自盡ノ源ヲ塞テ後、傲ルニ自盡ノ法ヲ以テス、夫レ男子ノ自盡ハ、梁ニ懸ケ水ニ赴キ、永ク掬ヲ負ヒ、浪ヲ逐ノ魂トナリ、官ニ報ジテ收ガレバ、蠅啮蛆啞、誰カ為ニ悲哀セン、婦人ノ自盡ハ、索ヲ吊シ、巾ヲ垂

レ、長ク閭巷陰房ノ鬼トナリ、屍ヲ呈ジ、驗ヲ待ツ
片、露體赤身羞恥ヲ知ルコトナシ、是レ父母生ム所ノ
遺體ヲ以テ、竟ニ自ラ毀傷シ、萬劫遇難キノ人身
ヲ以テ、自ラ視ルコト猪狗ニ同ジ、此本縣ノ深ク惡
デ、痛ク恨ム所ナリ、爾既ニ遺體ヲ惜マズ、本縣又
何ゾ爾ガ遺體ヲ惜ン、爾既ニ猪狗ヲ以テ自ラ視
ル、本縣又何ゾ猪狗ヲ以テ爾ヲ視ザラン、示後敢
テ自盡ヲ以テ、詞ヲ捏テ告理スル者アラバ、告ル
所ヲ以テ、律ヲ按ジテ反坐セン、敢テ命ヲ借り衆
ヲ率テ抄搶スル者アレバ、定テ白晝搶奪ヲ以テ、

律ヲ按シ罪ヲ科セン、是爾ガ一命、白晝ナラズヤ、
本縣言出テ隨ハシム、爾等試ニニ靜思猛省シテ、
忽スルコト莫レ、又嚴ニ莊頭地方ニ諭ス、凡、自盡ノ
身屍ハ、務テ自盡ノ字樣ヲ以テ、呈報スベシ、鴻即
刻單騎親ラ詣リ、驗視シ、果シテ自盡ノ實跡、疑フ
可キナキ者ハ、其盡ヲ致スノ情由ヲ酌デ、或ハ答
責ヲ行ヒ、或ハ葬埋ヲ断ズ、其情矜ムニ足ザル者
ハ、立刻ニ屍親ヲシテ、殮埋ノ結狀ヲ具セシム、差
票ヲ出サズ、多ク踉役ヲ帶ビズ、遠近ニ論ナク、自
ラ乾糧ヲ備ヘ、一盃ノ茶水ヲ擾ラズ、刑書ヲシテ、

硃墨筆硯ヲ隨携シテ、屍痕口供ヲ登記セシメ、棚
場ヲ用キズ、惟一発或ハ葦蓆一片ニ坐スルノミ、
其屍親人等、一錢ヲ用キズ、縣門ヲ見ズ、一宿ニ過
ズシテ、其事已ニ結セシ、若シ衆ヲ率テ圍圍シ、棍
ヲ持シ兇ヲ行フノ徒アラバ、立刻ニ鎖拿重責シ、
倡首ノ者ハ帶テ衙門ニ至リ、枷號封固シ、地方ニ
著シテ押回セシメ、本處ニ就テ衆ニ示ス、是ノ如
キヲ半年、人々悔悟ヲ知テ、自盡スル者稀ナリ、歲
餘ニ至レバ、竟ニ復聞カズ、民間許多ノ枉死鬼少
ク、官モ亦限ナキ馬蹄ノ忙キヲ省ケリ、孰カ教ト

法ト下邑ニ行ハレズト謂フヤ、

謹デ按ズルニ、康熙三十三年五月内、中城御史張
某シ條奏ス、旗下ノ人命自盡スル者ハ、完結ヲ行
ヒ、並ニ兩隣ヲ拘訊スルノ例ナシ、旗民モ自ラ一
例ナルベシ、必シモ兩鄰ヲ株累セズ等ノ語、刑部
議覆ス、嗣後五城宛大ノ二縣所屬民人ノ自盡ハ、
勢ヒ必ズ兩隣ニ情由ヲ問テ、拘訊ヲ許スベシ、真
情ヲ審ベ得テ、又端ヲ借テ兩隣ヲ株累スル者、定
例ニ照テ罪ヲ治ム云々、直省ニ通行シ、旨ヲ奉ジ
議ニ依レト、是ニ由テ推セバ、兩隣尚ホ株累ヲ許

サズ、況ヤ命ヲ挾テ控槍スルヲキ、並ニ附録シテ
新例害ヲ杜クノ更ニ嚴ナル徴トス、
鴻按ズルニ、前ニ論ズル七殺ノ命案ニ、真命中ノ
假命アリ、是ヲ屍ヲ借テ圖賴スト謂フ、自盡ノ命
案ニ、假命中ノ真命アリ、是ヲ威逼死ニ致スト謂
フ、故ニ真假俱ニ詳カニ辨ズベシ、因テ篇末ニ附
シテ、采定ヲ俟ツ、
屍ヲ驗ス、初死ノ屍ヲ驗スルヤ、屍ニ四縫アリ、
驗スル時、後開ノ次序ニ依テ看驗ス、ベシ、凡ソ傷
損アレバ、件作ヲシテ處所ヲ指定セシメ、圓長斜

正、青黒分寸、驗官親ラ驗シテ差フ、無レバ、兇犯
ヲ押シテ、屍傷ヲ認明センメ、並ニ屍親于証等、俱
ニ認確ヘ、然シテ後、硃筆登記、頂心、顛門、腦角、額角、
太陽、目眦、鼻山根、耳根、結喉、血盆、胸前、乳脇、軟肋、心
腹、小腹、乘枕、穀道、陰囊、婦女ノ陰戶、乳傍ノ如キ、皆
要害致命ノ處ニ係レリ、尤ニ宜ク詳カニ傷色ヲ
辨ズベシ、紫黯微腫ヲ以テ、最モ重シト為、次ハ
紫赤腫ヲ重シトス、又次ハ赤色ト青色ナリ、紅紫
ハ新傷トシ、青黒ハ久傷トス、關ル所、細ニ非ズ、必
ズ分別スベシ、

腦角

大陽穴

左耳

左耳根

左頰

項

肩

膊

肘

腕

臂

手

五指

五指爪

按ズルニ、身死ハ速カニ相驗スベシ、變ヲ發セシ
 ムル母レ、變ヲ發スレバ亦天時ノ寒暑、年紀ノ老
 少ト、身體ノ肥瘦ヲ看ヨ、肥テ少キ者ハ變リ易シ、
 瘦テ老タル者ハ遷ク變ズ又南北氣候ノ不同ナ
 ルヲ看ヨ、山ノ寒暄ハ、更ニ陡頓ノ非常ナルアリ、
 時ニ臨テ審量スルヲ貴ブ、平時多以テ論ズレバ

大約春月ハ屍兩三日ヲ經レバ變動シ、口鼻肚皮

兩脇胸前肉色微青ナリ、若シ十日ヲ經レバ、鼻耳

内多ク惡汁アリ流出シ、肚皮膨脹レ、夏月ハ一二

日ニシテ變動シ、三日ニ汁流身脹レ、蛆攢リ唇翻

リ、膚爛レ、炮起ル、四五日ニハ頭髮脱落ス、秋月ハ

春ニ較レバ稍速ニ、夏ニ較ブレバ稍緩シ、冬月ハ

四五日ニ肉色先ヅ黄緊微變シ、半月ノ後始テ變

動ス、若シ薦席ヲ用テ裹包テ、温地ニ安埋スレバ、

變動平常ヨリ遅シ、

凡ソ屍ヲ檢スルニ、先ヅ牌ヲ出シテ棚廠ヲ搭セ

シム、如シ屍已ニ多日ナラバ、多ク糟葱食鹽白梅
 醋等ノ類ヲ備テ、傷痕ヲ覆蓋スルノ用トスベシ、
 但差役ニ端ヲ借テ、需索セシム可ラズ、
 屍所ニ至ラバ、上風ニ坐シテ、皂角蒼朮降香ヲ燒
 テ、惡臭ヲ辟ベシ、或ハ蒜油ヲ用テ、鼻竅内ニ擦リ、
 蘇合香丸鼻ヲ塞グ、并テ畧燒酒ヲ飲ミ、或ハ口ニ
 生薑小片ヲ含ムヲ妙トス、
 肉屍ヲ檢ス
 屍ヲ檢スル次序ハ、止ダ兩面ト作ス、驗法四面ト
 作スニ同カラズ、正面頭ノ上ヨリ檢起シ、頭髮ヲ

解テ長サ若干ヲ量リ、頂髮ヲ分開シテ、頂門、額門、
 左右兩太陽穴ヲ檢シ、雙睛、鼻孔、口齒、舌ヲ擊キ、臉
 上、刺字ノ有無ヲ看ルベシ、或ハ已ニ藥ヲ用テ爛
 レ、字痕黠淡、及ビ疤ヲ成ス者アラバ、竹筴ヲ用テ
 痕處ニ于テ、之ヲ撻バ現ル、兩耳連喉ノ下、左右ノ
 兩臂、手掌、手背、十指、甲、心、胸、兩乳、脇、腋、臍、大肚、
 小腹、陰囊、外腎、玉莖、婦人ハ產門、左右ノ兩大小腿、
 脚、脚底、板、十趾、趾爪ヲ看ヨ、背、面ハ腦後、承枕、骨、頸、
 頂、背、脊、腰、脊ヲ看ヨ、臀後ニ筈杖ノ痕アリヤ、否
 看ヨ、糞門ヲ看ヨ、

屍上是何ノ處カ傷痕或ハ青、或ハ紫、或ハ赤、或ハ
 黒、或ハ血アリ、血ナキ、并テ大小長濶深淺等ノ分
 寸ヲ量リ、作作ヲシテ、指シテ、報明セシム、檢官親
 臨、看視差フ、ナク、兇犯ヲ押シテ、認明セシメ、
 並ニ屍親干証ヲ俱ニ認確シ、然ル後、報ヲ照シテ、
 硃筆ニテ屍格ニ填入レ、檢シ畢レバ、各書ヲシテ、
 屍格ノ後ニ押セシム、其身屍某ノ處、或ハ雕青、
 疔瘡痕ノ類アラバ、俱ニ屍格ノ内ニ開填スベシ、
 人命下
 各種ノ死傷ヲ驗ス

身首異處ノ屍ヲ驗スルハ、先ヅ屍親ヲシテ、身首
 ヲ辨認セシメ、屍處ノ四至ヲ量リ、首ト身ト相離
 ルノ左右遠近ヲ量ルベシ、支解ノ者ハ、手臂腿脚
 各相離ルノ遠近ヲ量リ、開寫シ訖リ、屍ヲ湊成シ
 テ收殮ム、
 殺死シテ主ナキノ屍ハ、親身往テ驗スベシ、或ハ
 荒郊曠野、深山僻林、往來道傍ニ係ラバ、近處ノ莊
 村社寺ヲ看シ、要ス、細訪詳視スベシ、若シ近
 人ノ謀害ニ係ラバ、日久クシテ自然ニ風聲敗露
 セン、屍親ナキハ、本官暗ニ心ニ存スベシ、本時根

究ニ便ナラズ、屍處ノ四至ヲ量明シ、何處ノ傷ハ、何等ノ傷痕ニ係ル、面貌ノ印記疤痕鬚鬚約略年紀ノ老少身體ノ長短穿ッ所は何ノ衣服行李包裏兜肚銀錢及ビ文書字跡何處ノ人民籍貫逐項登記シ案ニ存ス、仍ホ示ヲ出シテ曉諭シ、屍主ヲ跟尋シ、其屍ハ地方ニ掩埋シ、木牌ニ面貌年紀衣服籍貫ヲ標記シテ、屍主ノ識認スルニ便リス、死シテ明ナラザル屍ヲ驗スルハ、屍ニ傷損ナキ者ハ、婦女ハ陰門ヲ看ルベシ、恐クハ此ヨリ双ヲ腹ニ入シ、平頭鐵釘ヲ頂心ニ釘シ、及ビ他物ヲ鼻

ト糞門ニ入ル、皆傷ヲ匿スベシ、孕婦ヲ驗スルハ、孕婦死シテ速ニ殮シ、或ハ速カニ埋メバ、屍體脹満シ、骨節縫開シテ、其胎必ズ出ヅ、凡ソ開屈シテ、勘驗スルハ、可ラズ、○小兒ノ屍、腹中ニテ驚死スルハ、胞衣紫黑色血瘀軟弱ナリ、生下シテ死スルハ、屍淡紅ニシテ胞衣白シ、生下シテ死ヲ致ス者、或ハ傷痕アリ、或ハ喉下塌ム、蓋シ驚死ヲ以テ、人ニ頼ルハ、多ク手足ヲ捉定シ、咽喉ヲ搦踏シテ、氣絶ヲ致ス、○凡ソ胎孕傷墮、穩婆ノシテ、胎ノ月數已未成形ヲ定メ、供ヲ取テ

卷ニ附ス、胎形、一月ハ露珠ノ如ク、二月ハ挑花ノ
 リ、五月ハ骨節成リ、六月ハ毛髮生ジ、七月ハ左手
 ヲ動シ、八月ハ右手ヲ動シ、九月ハ三ツ身ヲ轉
 ジ、十月ハ形像未具ナルハ、タビ血塊アリ、久爛ス
 満足ス、化シテ惡水トナルノミ、
 鬪毆律内ニ、凡ソ人ノ胎ヲ墮スルハ、杖八十、徒二
 年、註ニ墮胎ハ、辜内ニ子死シ、及ビ胎九十日ノ外、
 成形ノ者ハ坐スルヲ謂フ、若シ子辜外ニ死シ、及
 ビ墮胎九十日ノ内ノ者ハ、仍ホ本毆傷法ニ從テ
 論ジ、墮胎ノ罪ニ坐セズ、
 凡ソ血肉屍傷殺死ノ者ハ、刀斧鎗刃ノ痕ヲ分チ、

刃死ノ者ハ、人害自割ヲ分チ、毆死ハ手足他物ノ
 痕ヲ分チ、弔死ハ、人勒自縊ヲ分チ、淹死ハ、沈溺自
 投ヲ分ツ等、細カニ真假ヲ辯ズベシ、毫厘千里、切
 ニ輕忽ニスル勿レ、左ニ分別ス、
 殺死 殺傷ノ痕ハ、内外ノ瘡口ヲ看ヨ、大處ハ行
 又トシ、小處ハ透過トス、已ニ潰爛セバ衣服ヲ看
 ヲ、斧痕ハ外濶ク内狭シ、刀痕ハ淺キハ狭ク、深キ
 ハ濶シ、鎗痕ハ圓ヲ帶ビ、深キハ透尖ス、又頭ノ痕
 ハ刺ト稱シ、刀口ハ砍ト稱シ、長短分寸斜正深淺
 ヲ聲說ス、如シ肚皮兩肋臍下ヲ傷シ、肉膜ニ透過

スレハ腸出ツ、喉ヲ傷スレバ、深サ何處ニ至ル、方
 圓ト、食系氣系ヲ断ヤ否ト、血汚ノ有無ヲ明カニ
 シ、頭面太陽腦角腦後髮際ヲ傷スルハ、頭髮ヲ斫
 断スルカ、骨損腦漿血出ルヲ明カニスベシ、立死
 スレバ、要害致命ヲ指定シ、數日ヲ隔テ死スレバ、
 將養效アラズ、致命ヲ傷スルニ因テ死スト説ク、
 ○殺傷セラレテ死スルハ、口眼開キ髮亂レ、兩手
 微ク握リ、手上或ハ傷損アリ、若シ兇人一刀ニ虚
 怯要害ノ處ヲ致命スル者ハ、死人手上ニ傷ナク、
 其瘡必ズ重シ、○活人殺ヲ受ルハ、其創ヲ受ル處、

皮骨緊縮シ、四畔血瘡アリ、支解スルハ、筋骨皮肉
 稠粘シ、皮縮リ骨露ル、○首ヲ落スハ、項下ノ皮縮
 リ、骨凸カニ肩聳ユ、○死後ニ首ヲ割ハ、其皮血灌
 瘡セズ、割ル、處平満シテ皮緊縮セズ、骨凸カナ
 ラズ、肩聳ヘズ、刀盡タル處、俱ニ血流ナク、其色白
 ク、痕下血水アレ、洗擦スレバ、肉内四畔、必
 ズ清血、流出スルナシ、
 毆死、毆死ノ屍ハ、口眼開キ、髮亂レ、衣服整ハズ、
 兩手拳セズ、或ハ溺リ内衣ヲ汚ス、○他物ニテ打
 スルハ、其痕横長ク、兵刀ヲ用ザレバ、皆他物ナリ、

拳打ノ者ハ、其痕方圓ナリ、脚踢ハ拳痕ニ比スレ
 バ大ナリ、一ニ云身ヲ以テ物ニ就テ自磕スル者
 ハ、未ダ破レザル處、其痕方圓、破レハ亦深カラズ、
 ○生前毆レテ死スルハ、傷痕紫赤ノ血暈アリ、死
 後青竹筵ヲ將テ火燒シ、烙シテ傷痕ヲ成シ、詐リ
 テ打死ト稱スル者アリ、其痕焦黑色、淺平ニシテ
 硬カラズ、擗木皮ヲ將テ、卷シテ傷ヲ成ス者アリ、
 其痕内ハ爛損シテ黑色、四圍ハ青色、聚テ一片ヲ
 成シテ腫レズ、捺スモ亦硬カラズ、○毆死ノ屍ヲ
 檢スルニ、先ヅ乾檢スルヲ一番次ニ皂湯ヲ以テ、

垢臧ヲ洗滌シ、又清水ヲ以テ沖洗潔淨ス、若シ青
 黒ノ痕アレバ、必ず硬シ、水ヲ上ニ滴スレバ流レ
 ズ、若シ傷頭レザレバ、藤連白紙或ハ抄紙ヲ以テ
 厚鋪シ、屍ヲ襯シ、糟醋壅蓋シ、仍屍衣ヲ以テ之ヲ
 覆ヒ、醋ニ煮テ澆淋シ、薦蓆ヲ以テ覆スルヲ一時、
 屍體透軟スルヲ俟テ、衣薦ヲ揭去シ、水ヲ沖シテ
 糟醋ヲ去リ、細カニ傷痕ヲ驗ス、若シ痕ノ現ルモ
 分明ニ見ザレバ、日ヲ迎ル處ニ于テ、新油絹或ハ
 明油傘ヲ以テ、日ヲ隔テ照勘スベシ、陰雨ナラバ
 燈火ヲ以テ隔照ス、若シ傷仍ホ頭ザレバ、白梅ヲ

搗爛シ、傷ヲ告ル所ニ壅ス、猶全ク頭レザレバ、再ビ
白梅肉ニ葱椒醋ヲ加ヘ、研シテ餅子ト作シテ煨
熱シ、紙ニ襯シテ之ヲ焙ス、凡ソ鹽醋ヲ用ルハ、初
春冬月ハ熱ニ宜シ、仲春後ト深秋ト微熱ニ宜シ、
夏ト初秋ハ温ニ宜シ、蓋シ冷ニ過レハ透ラズ、熱
ニ過レバ屍身ヲ糜爛シ、更ニ驗看シ難シ、○争鬪
ニ因テ、死シテ檢看スルニ、傷痕ナキハ、此人或ハ
痲疾ノ患ヒ、激發シテ死スレバ、腎子腹下ニ縮入
ス、温醋ヲ用テ、軟衣棉絮ノ類ヲ濕シ、登スル、一
飯時ニシテ、作作手ヲ以テ、小腹ヲ按スレバ、腎子

自ラ墜ツ、大凡屍腎子ナクシテ、外傷ナキハ、俱ニ
此法ヲ用ユベシ、腎子既ニ下ラバ、又細ニ傷損ヲ
驗スベシ、大醉大飽ノ時ニ于テ人ト争鬪シ、暴怒
觸逆スレバ、亦能ク氣絶ス、
弔死 縊死ノ屍ヲ驗スルニ、現在懸掛セバ、懸空
ノ高下懸弔ノ處、任ニ勝ヘ、勝ヘザル、或ハ空ニ懸
ルベキ成否ト、蹬踏器物ト、項下何ノ繩帛ニ繫ル
ト、繫圍ノ徑ト、縊痕ノ粗細ヲ聲說シテ方ニ屍ヲ
解キ、驗處ニ置ベシ、若シ已ニ經シテ解下スレバ、
項下ニ原繫ノ繩帛、或ハ繩帛現ニ屍傍ニアルヲ

聲説ス、或ハ尚原弔ノ處ニ留メバ、縊痕ノ同異ヲ
比對スベシ、若シ泥雨ノ時ナラバ、死者ノ脚ニ、何
様ノ靴鞋ヲ着シタルト、踏上ノ印踪ヲ看ルベシ、
○自ラ縊ルハ繫縛ノ處交シテ、左右耳後ニ在テ、
色赤紫ナリ、眼合シ唇開キ、手握テ垂レ、齒露ル、縊
喉下ニアレバ、舌齒ニ抵リ、口脰ノ兩角、豎ビ胸前
涎滴アリ、手拳シテ大拇指ヲ握リ、脚尖直ニ垂下
シ、腿上ノ血瘡、火炙スル如ク、吐ヨリ小腹マデ墜
下シ、青黒色前遺洩シ、臀後糞アリ、及ビ大腸頭出
デ、或ハ血一二点アリ、○人勒死シテ、假ニ自縊ト

作スハ、口眼開キ、手散ジ、髮寛ク、喉下血脰行カズ、
痕跡淺淡、血瘡黒蹟ナク、舌出デズ、亦齒ニ至ラズ、
項肉ニ指甲ノ痕アリ、タミ生勒シテ死セズ、即時
巾起シテ、詐リテ自縊ト作スハ、稍辨ジ難シ、若シ
窓櫺等隔テ勒死セシハ、繩痕ヲ交ヘズ、多クハ平
過シ、却テ極深黒溟色、亦耳後髮際ニ交ヘズ、○若
シ喉下ニ絞勒セラレテ死スル者ハ、結線交テ項
後ニアリ、手垂レズ、垂ルモ亦直カラズ、○自縊ノ
者脚虚ナレバ、喉下痕深ク、實ナレバ淺シ、人肥レ
バ深シ、瘦レバ淺シ、繩緊細ナレバ深シ、懈粗ナレ

ハ浅シ全幅ノ帛巾ハ散ズ○帛ノ高低ヲ論ゼズ、
 床擋上、船艙内、皆能ク人ヲ死ス、タゞ其屍横マニ
 懸レバ頭頭シ、身倒マニ卧シ、痕斜ニシテ腦後
 際ニ至ラズ、○自ラ縊ルニ、活套頭アリ、死套頭
 リ、單繫十字纏繞縊アリ、若シ死套頭ヲ結デ縊ル
 者ハ、帛處必ズ高シ、先ヅ繩套ヲ掛ケ、後チ項ヲ入
 テ、掛下スレバ、踏上ノ處、必シモ高カラス、タゞ套
 ヲ寬ニシ、頭ヲ入テ掛下スレバ、脚地ニ到リ、膝地
 ニ跪クモ、俱ニ死スベシ、單繫十字縊ハ、先ヅ繩索
 ヲ項後ニ繫ギ、復タ物ヲ以テ襯搭シ、高處ニ板繫

シ、物ヲ捨テ高ク懸レバ死ス、若シ脚ヤ、地ニ着
 キ、項繫テ自鬆シ、生氣猶ホ喉間ヨリ出入スルヲ
 得バ死セズ、焚レ氏先ヅ繫處ノ塵土ノ痕、踏所ノ
 物ヲ看ベシ、繫處高ク板着スルヲ能ハサレバ、是
 別人ノ帛起セシナリ、大約縊死ノ痕、八字交ラザ
 レバ、纏繞縊ナリ、是死人先ヅ繩帶ニテ、項下ヲ纏
 繞スルヲ一ニ遭、高ク繫リテ、身ヲ垂レバ、死ヲ致
 ス、或ハ先ツ高處ニ繫ギ、雙積垂下シ、高キヲ踏デ
 頭ヲ入レ、積内更ニ纏フヲ一兩遭シ、物ヲ捨テ掛
 下スレバ、其痕必ズ兩路ヲ成ス、上一路ハ身後ヲ

過ギ、斜ニ髮際ニ入テ交ラズ、下一路ハ平カニ項
 下ヲ繞テ周匝ス、傷ヲ報フルニ兩存シ、聲説明白
 セヨ、○若シ自縊シテ未ダ死セズ、人ニ他處ニ移
 シテ弔セラル、モ、亦兩痕アリ、亦勘明スベシ、○
 自縊ノ者、曾テ解ンテ復死スレバ、肚脹シ、舌ヲ咬
 マズ、臀後糞ナシ、○人家中ニ弔死シ、屍ヲ移シテ
 外ニ掛ル者ハ、亦兩痕アリ、原痕ハ紫ニシテ血痕
 アリ、移痕ハ白クシテ、血痕ナシ、○死シテ明カナ
 ラズ、火烙ヲ用テ痕ヲ成シ、假縊死トナシ、抵償ヲ
 免ンコヲ希フ者アリ、痕色紅、或ハ焦赤フシテ湿

ヲ帶ブ、○屍久ク弔シテ解カズ、日久クシテ爛壞
 ン、肉潰テ骨ヲ見ス者アリ、繩必ズ槽ニ入ル、手
 ノ骨頭腦ノ骨、指尖ノ骨、牙齒必ズ皆赤色ナリ、
 淹死、淹死ノ屍、尚水ニアルハ、屍ノ浮沈ヲ看ル
 熱ノレバ一二日ニシテ浮ブ、寒ナレバ必ズ數日
 ヲ經ル、水底ノ深淺、水面ノ濶狹、並ニ屍ノ浮ム岸
 ヲ去ル若干尺ヲ量ル、○水内ノ屍、男ハ伏シ、女ハ
 仰ク、○水ニ浮ハ、屍ノ水内ニアル時ヲ見、或ハ他
 處ヨリ流テ此ニ至ルカ、或ハ此間ヨリ浮ミ起ル
 カヲ查スベシ、○又水ニ落ル時、人ノ見アリヤ否

ヲ查スルヲ要ス、人ノ見アレバ如何ナル情由、並
 ニ人ノ撈救スルヤ否ヲ問フ、○已ニ撈シテ、岸ニ
 上スノ屍ハ何時何人撈起ス、水中ニ死スルカ、撈
 後ニ死スルカヲ問フ、○井ニ溺レ、屍未タ井ヲ
 出ザレバ、如何シテ井内ニ人アルヲ知ルト問フ
 シ、蓋シ井内ニ人アレバ、水面必ズ浮沫アラシ、恐
 クハ人ヲ謀テ、井ニ入レ反テ人ニ報ズ、故ニ此ヲ
 以テ之ヲ詰ル、○自ラ投ジテ、井ニ入レバ、脚下ニ
 アリ若シ頭下ニアレバ、恐クハ人ノ赶迫推送ス
 ルアラシ、更ニ脚迹失跡スル處ノ痕ヲ看ルベシ

○生前水ニ落テ死スルハ、頭面仰ギ、肉色淡白、口
 開キ鼻内沫出テ、眼合シテ、皺多ク、肚腹膨脹シ、拍
 著スレバ、响キ、指甲鞋内ニ泥沙アリ、脚底皺白シ
 手拳曲ス、若シ痠病ノ人ニ非レバ、水添ヤ一七尺
 以上、○死後、水ニ入レバ、肉色黄ヲ帯ビ、口眼俱ニ
 合シ、兩手屈セズ、脚底皺白ナラズ、肚腹脹レズ、指
 甲鞋内ニ泥沙ナシ、身上ノ傷痕ヲ看ヨ、若シ傷ア
 レバ、其痕黒シ、○水ニ溺テ死スルニ、面色赤ク、身
 ニ傷痕ナク、生前水ニ落ルノ諸状ナキハ、此倒提
 シテ水ニ入レ、温死スル者ナリ、

淹死ノ屍ヲ驗スルニ、原未ダ人ト争鬪セズシテ、
 頭面傷痕刃力傷アルハ、洵シテ水内ヲ看ヨ、或ハ
 金及磁鋒等ノ物アリ、撞磕シテ傷ヲ成ナラン、蓋
 シ初テ水ニ落ルキ、氣未ガ絶ヘズ、物ニ觸テ中傷
 スレバ、自ラ血痕アルベシ、生時又ヲ受ル者ノ如
 シ、能ク其情ヲ得バ、疑獄結シ難ク、又々無辜ノ人
 ヲ累ス、コトヲ免ルベシ。○人或ハ打レ、恚テ水ニ投
 ジ、或ハ毆後、悞リ跌テ、水ニ落ル、其屍生溺ノ者ト
 同ジ、屍格毆傷ヲ受ルノ痕ヲ具出シ、水ニ入ル
 由ヲ聲説スベシ、凡ソ毆傷要害ニ中レ、草内平

復シ、他ノ故ヲ以テ死スルハ、毆傷ノ法ニ依ル、今
 既ニ水ニ落テ死ス、重傷アリ、正實ニ水傷ヲ以テ
 盡命スルハ、抵償ヲ以テ論ズル勿レ、凡ソ毆後、自
 盡スル者モ、皆是ノ如ク、檢報スベシ、
 火燒死 身屍ハ、屋瓦茅灰ノ厩觀スルヤ否ヲ看
 ル、蓋シ屋宇ヲ焚キ、燒死セシ屍ハ、屋茅ノ下ニア
 リ、若シ上ニ在ルハ、是人ノ火ニ投ゼシナリ。○灰
 火中ニ在ラバ、先ヅ週圍ノ灰燼ヲ掃除シ、然ル後
 屍ヲ翻動シ、地上ノ痕迹、身屍ノ傷損ヲ驗ス。○火
 中ニ在テ熏逼セシハ、奔拚シ、口関キ、呼吸ノ出入

必ズ灰煤ノ口鼻ニ入アラン、無キハ死屍ヲ以テ、
 火中ニ入レ、假ニ燒死ト稱スル也、若シ殺死ノ屍
 ヲ以テ假ニ燒死トナスハ、屍先ヅ血ヲ帶ブ、屍ノ
 下ニ于テ掃淨シ、米醋ヲ灑潑スレバ、自ラ血跡ノ
 顯露セン、○老病牀ニ在テ燒死スルハ、肉色焦黃
 手膝拳曲、口張リ、或ハ齒唇ヲ咬ム、唇ニ黄色脂膏
 ノ突出スルアリ、皮肉ニ他傷ナク、タビ傷痕アラ
 バ、原宿ト屍存ノ處ヲ問フベシ、○如シ屍火燒セ
 ラレ、盡ク灰燼ト成テ、檢驗スベキナキハ、乍作親
 隣ノ供狀ヲ取テ燒燬ノ情由ヲ查明シ、實ニ骸骨

ノ存在スルナキヲ聲說シ、証ニ據テ、論擬シテ可
 ナリ、
 湯潑死 湯ノ潑傷スルハ、皮肉皆爛ル、皮折レバ
 色白シ、肉ニ着ノ皮モ、湯ヲ經レバ亦白シ、肉赤爛
 シ、傷重ク、毒心ヲ攻ル者、亦能ク人ヲ死ス、○鬪毆
 推入スル者ハ、損處アリ、飽甚ダ起ラズ、
 各種ノ死傷ヲ驗ス
 毒ニ中テ死ス、空腹毒ヲ服スレバ、肚腹外腎ハ
 青脹シ、唇口指甲青カラズ、飽後毒ヲ服スレバ、唇
 口指甲青ク、肚腹外腎青カラズ、

此霜ノ毒ニ中ル、吐逆シ、腸腹絞痛シ、忍ブ可ラ
 ズ、發狂シテ七竅血逆テ死ス、一時遍身小泡ヲ發
 シ、青黒色ヲ作シ、眼睛糞門脹綻シ、舌吐キ、上ニ小
 刺泡ヲ生ジ、口唇破裂シ、肚腹膨脹シ、指甲口唇俱
 ニ青黒外腎脹大ス、
 酒毒ニ中レバ、腹脹シテ酒ヲ吐瀉ス、食物金石
 藥ノ毒ニ中リ死スル者、其身屍青腫ノ處アリ、拳
 脚毆傷痕ニ似テ、或ハ大片青黒ヲ成シ、或ハ皮肉
 裂ケ、舌ト糞門ト皆露レ、或ハ指甲青黒肉縫微ク
 血アリ、鼻中血ヲ出ス、○死後毒藥ヲ以テ灌入シ、

假ニ毒ヲ服ストナス者ハ、皮肉ト骨ト、但黄白色
 ヲ作テ、他故ナシ、○毒ニ中ルノ屍、顯露ノ痕跡ナ
 キハ、毒氣内ニ淤滯シ、或ハ氷凍ニ因テ發セザレ
 バ、純銀ノ釵股ヲ將テ、皂角水ヲ洗過シ、喉中ニ探
 入シ、紙ヲ以テ密ニ封ズレバ、良久クシテ必ず青
 黄色ヲナス、如シ色ナケレバ、再ビ探入密封シ、熱
 糟醋ヲ用テ、胸腹ノ間ニ在キ、下ヨリ盥洗シ、毒氣
 ヲシテ上透セシムレバ、自然ニ色變ズ、仍ホ皂水
 ヲ以テ釵ヲ洗フニ、色必ず去ラズ、若シ空腹毒ヲ
 服スレバ、肛門ヲ探ルベシ、上ヨリ盥洗シテ、氣コ

下ラシム、〔叙ハ純銀ナラズ、〕
 凍餓死、凍死ノ屍ハ、衣必ズ單薄、面痿黄シ、頂縮
 リ、牙齒硬ク、兩手緊ク胸前ヲ抱ヘ、遍身寒栗シ、口
 ニ涎沫アリ、其涎粘セズ、熱酒醋ヲ以テ洗ヘバ、紅ヲ發スル、芙蓉ノ如シ、○餓死ノ屍ハ、臍腹空、
 虚身黒ク瘦テ硬直ナリ、眼閉ヂ口開キ、齒緊ク肢
 伸ブ、
 驚死、屍目瞪シ口開キ、兩手舒展スルヲ如ク、猶
 ホ恐怖ノ状ヲ存ス、
 跌死、高キヨリ跌死スルノ、〔山崖樹杪ニアレ、〕

バ、柯技ノ投擲ヲ看ヨ、墻屋ニアラバ、高低並ニ失
 足、踪跡ヲ看テ推墮自墮ヲ辨別スベシ、致命ノ處、
 定テ磕損傷痕アラシ、若シ内損ニ因テ命ヲ致サ
 バ、七竅内定テ鮮血ノ流出スルアラシ、
 碾壓死、車碾並ニ畜觸踏死ノ者ハ、肉色微黄、兩
 手舒展シ、口鼻眼耳内、或ハ血出ルヲアラシ、○車
 輪ハ痕長ク、驢足ハ痕小ニ、馬足ハ痕大ナリ、○
 死ノ屍ハ、舌出デ眼突睛シ、耳口鼻血アリ、兩手微
 カ握リ、遍身於紫シ、傷處皆血瘡赤腫アリ、皮破ル
 處、四畔亦腫レ、或ハ筋骨折損ス、若シ死後ノ壓ハ、

筋骨折テ亦前状ナシ、○跌壓ニ非ズトモ、不意ニ
 硬物肋後ヲ應撞スレバ、亦能ク人ヲ死ス、蓋ン此
 最モ虚怯要害ノ處ナリ、傷處紫赤ニシテ腫ルベ
 シ、方圓三四寸ニシテ皮破レズ、手ヲ用テ搦テ
 レバ、筋骨必ズ損折アラシ、救治ス可ラズ、
 悶死凡ソ人ニ衣服ヲ被ラシ、或ハ濕紙、口鼻ヲ
 搭ヤ死セバ、舌嚼破シ、頂肉硬シ、腹乾脹ス、若シ外
 物ニテ、口鼻ヲ壓塞シテ命絶レバ、眼開キ睛突キ、
 口鼻内清水ヲ流シ、滿面血瘡青黒色アリ、糞門突
 出シ、便溺衣ヲ汚ス、○人ヲ飲醉セシメ、其襠袴ヲ

厚クシ、扱デ横卧シ、其睡熱ヲ俟テ、種ヲ捲束シ、倒
 立スレバ、片時ニ即死スル者、並ニ前條ノ情状ナ
 シ、但ダ其腹背必ズ脹ル、兩肋心胸ノ前ニテ按ス
 レバ、堅實ニシテ之ヲ撃バ、聲ナキ者是ナリ、若シ
 肉消ノ屍ハ、傷頂骨及ビ兩足心骨ニアリ、驗スベ
 シ、○高桶二隻ヲ叠テ、之ノ合セ、約ネ人身ノ高サ
 トナシ、下桶ニ満水ヲ注シ、石灰數升ヲ入レ、攪シ
 テ水ヲ渾ラセ、人ヲ水中ニ倒入シ、再ビ合スル所
 ノ桶ヲ以テ、鉗蓋スルヲ片時ニシテ斃ス、游湖ト
 名ヅク、其人既ニ死ス、水ヲ用テ洗淨スルニ毫モ

傷跡ナシ、血アリ倒出スルモ、灰ヲ見バ田ル、血面ニ凝滯スベキモ、灰ヲ得バ亦鮮クベシ、面更ニ微黄ニシテ、白キヲ病死ノ者ニ似タリ、但ダ灰水ニ浮ムニ因リ、必ズ口鼻ニ入ル、口鼻ハ洗滌スベキモ、灰滓ノ腦ニ着ク者ハ、去ル可ラズ、前ニ驗セシ生前水ニ落ルノ法ト同ク、其腦内ヲ撿スベシ、○年老ノ人ハ、手ヲ以テ之ヲ搗クモ、氣能ク絶ス、死シテ傷痕ナキ者ハ、意ヲ留メヨ、杖斃杖ヲ受テ死セバ、棒瘡ノ深淺濶狭ヲ勘驗スベシ、日淺ケレバ瘡圍毒氣アリ、青黑色ヲ致シ

皮肉堅硬ナリ、久ケレバ膿水淹浸シ、皮肉潰爛ス、○立口ニ斃ル者ハ陰囊婦女ハ産門並ニ兩脇肋腰小腹等ノ處ノ傷跡ヲ看ヨ、恐クハ賄ヲ受ケ、決打非法ニシテ、因テ致命セシ、雷震死 雷火人ニ着ケバ、身屍焦黑、鬚髮焦捲シ、身軟シ拳散シ、口開キ眉皺ミ、頭髮披亂ス、火ヲ經ルノ處、皮肉堅硬ニシテ捲黑ナリ、傷痕多ク腦後ニアリ、腦縫多ク開ケ、手掌ホドノ紫赤浮皮アリ、胸頂肩膊、或ハ藁字ノ文ニ似タルアリ、蛇犬傷死 坑跛傷死スル者ハ、傷處微ク齒損ノ

黒瘰アリ、四邊青腫シ、黄水アリ、流出ス、若シ毒四肢ニ灌溢セバ、身腫シ、面黒シ、○糊犬ノ傷ハ、必ず痕跡アリ、臑脹硬シ、小便挺出ス、
脱陽 男子色慾太夕多ク、精忽チ盡洩レ、婦人ノ身上ニ脱死スル者ハ、其陽衰ヘズ、
醉飽死 屍ニ傷痕ナシ、手ヲ以テ肚ヲ拍テハ、惟膨脹シテ響ク、屍親ニ死人生前酒ヲ飲ム多少ト、死スル日酒ヲ飲ム多少ヲ問ヒ死ヲ致ス因由ヲ推勘スヘシ○人醉飽ノ後高キニ跳リ重キヲ拾ゲカヲ用ルト太過ニシテ内損スルニ至レバ、亦

死ヲ致スベシ、其狀明メガタシ、但口鼻大便、必ず飲食並ニ血出ルト有シ、
病死 屍ニ傷ナク、但瘦弱痿黄、口眼俱ニ合シ、兩手舒展シ、身上或ハ鍼灸ノ新疤アラバ、屍親ニ生前ノ病症ト、曾テ醫人ヲ喚デ、調治スルヤヲ問フベシ、醫人アレバ立ロニ喚デ質問シ、實ニ現ニ何症ヲ患ヒ、曾テ何藥ヲ用タル明白ノ結狀ヲ取問セバ、定テ病ヲ患テ身死ストス、○凡ソ屍ヲ檢スルニ既ニ傷痕ナクシテ死シ、暴卒實ニ不明ニ屬スルハ、口内ノ涎唾喉間腫否ヲ看ヨ、或ハ急ニ纏喉

瘋ヲ患テ、殞スルアラン。○卒死ノ者ハ、肌肉陷ラズ、風ニ守ル者ハ、口鼻内或ハ涎沫アリ、或ハ口眼歪斜シ、邪ニ中ルハ、両手多ク握リ、手足爪甲多ク青シ、寒ニ中ルハ、遍身青紫多ク、口眼間キ唇或ハ微綻シ、手握拳セズ、暑ニ中ルハ、多ク五六七月、唇ナニアリ、眼合シ、面皮白色、總テ身ニ別様ノ傷痕ナキヲ準トス。○針灸シテ死スルハ、別ニ醫人ヲ詢シテ、針灸ノ處、穴道錯誤、死ヲ致ス情由ヲ驗スベシ。○人ト闘毆スルノ後ニ在リ、保辜未ダ満ズシテ、原傷已ニ平復シ、別ニ行風ノ瘡痕跡ニ

入ルナク、別ニ他病ヲ患ル者アリ、醫人ニ確由ノ結狀ヲ取問シ、亦辜内他疾身死ニ擬スベシ、抵償ノ理ナシ、骨ヲ檢ス、屍或ハ久遠消化シテ、骨ヲ檢スベシ、骨ニ前後數目次序アリ、知ザル可ラズ、更ニ男女同カラザル處アリ、其書ニ就テ詳ニ辨ズベシ、枯骨ヲ檢ス、晴明ノ天氣ヲ擇テ、先ツ水ヲ以テ洗淨シ、麻ヲ用キ、次ニ形骸ヲ成シ、簾上ニ鋪定シ、一地窖深サ三尺ナルヲ開キ、柴炭ヲ以テ窖ヲ熾紅シ、火ヲ去リ、好酒ニ外米醋五升ヲ潑ギ、熱ニ乘

ジテ葦骨ヲトシテ、害ニ入レ、草薦ヲ覆ヒ蒸ス
 一二時、地冷ルヲ俟テ、取出シ、平明ノ處、紅油アフラクシカサ織ニ
 テ、日ヲ遮テ照勘スヘシ、
 骨打ル、處アレバ、紅色ヲ露シ微廢ス、骨断ル處
 兩頭各血色ヲ暈ス、之ヲ以テヨニ照シテ細看ス
 レバ、紅活ハ生前ノ傷ナリ、若シ血暈ナケレバ、損
 折アリ、死後ノ痕ナリ、○折骨ハ必ズ芒刺ヲ看
 ル、毆折スレバ、刺裡ニアリ、研折ハ傷處乾血アリ
 毆傷ハ青紫黒等ノ暈アリ、前ヲ照シテ輕重ヲ分
 ツ、長キ者ハ是搥圓キ者ハ是拳脚大ナル者ハ是

頭撞○如シ陰雨ノ時ハ、始メ煮法ヲ用キ、瓮一口
 ヲ鍋トナシ、醋鹽白梅ヲ入レ、骨ト同ク煮ル、千
 百沸、取出シ水ヲ用テ洗淨シ、明處ニ照シ看レバ、
 其形現ル、○骨ヲ煮ルニ、錫ヲ用ユ可ラズ、錫ナレ
 バ暗シ、○件ゴ作サ作リ弊ハシ藥物ヲ鍋内ニ置ク、ア
 其骨傷處及テ百キ者アリ、甘草汁之ヲ解ク、○枯
 骨多次ノ煮洗ヲ經バ、其色白ク損ナキ者ト同ジ、
 油ヲ灌グベシ凡ソ骨大ナル者ハ縫アリ、小ナル
 者ハ竅アリ、油ノ溢レ出ルヲ待テ拭乾ス、損處ハ
 油沁シテ乾カズ、○又法濃墨ヲ骨上ニ搽ン、乾ク

ヲ待テ墨ヲ措去ス、凡ソ損折ノ處ハ、墨浸入シ、必ズ黒紋アリ、

事ヲ保ツ 凡ソ鬪毆シテ、當時命ヲ殞ス者ハ、自ラ鬪毆人ヲ殺ス律ニ依テ、罪ニ抵ス、人ヲ毆傷シテ未ダ死ニ至ラザルハ、其人ノ死ト否ト、尚知ル可ラズ、罪ヲ定メ難シ、是ニ于テ限ヲ立テ之ヲ保ス、人ノ傷ヲ保スルハ、正ニ已ノ罪ヲ保スル所以ナリ、夫人ヲ毆スル者ハ、彼此相争ヒ、因テ失手ス、豈後悔ノ心無ランヤ、保シテ之ヲ治セバ、餘力ヲ遺サルベシ、素怨嫌アルモ、官ニ當テ保治ス、設

シ瘥ザレバ、彼又焉ゾ死ヲ逃ン、其人ノ生ヲ望ムハ、正ニ自ラ生ル所以ナリ、人ヲ救フニ亦必ズ餘カヲ遺サズ、是一紙ノ保辜、兩人ノ命ヲ活スベシ、タゞ傷親領去スルモ、父子ニ非レバ、其灾ヲ倖ヒ、禍ヲ樂ム者少カラズ、必シモ辜ヲ保スル者、其生ヲ望デ之ヲ救フ、心切ナルニ如カズ、

賊盜上 總論

夫事アリテ、盜ヲ緝ルヨリ、事ナクシテ、盜ヲ弭ルヲ善トス、盜ヲ弭ルハ、盜ヲ未形ニ止ルニアリ、盜

ヲ緝ルハ、既ニ犯スニ獲ル、其既ニ犯シテ之ニ罪
ヲ加シヨリ、何ゾ未形ニ、其生ヲ保全スルニ如シ
ヤ、夫盜モ亦民ナリ、或ハ上ニシテ、其教ヲナス所
ヲ失フト、下ニシテ、其養ヲ為ス所ヲ失フヲ以テ、
此ニ至レリ、上其教ヲ失ヘバ、禮義ノ遵フベク、刑
罰ノ畏ルベキヲ知ラズシテ、民法ニ陷リ易シ、下
其養ヲ失ヘバ、貧困ノ守ルベク、財利ノ苟モ得可
ラザルヲ知ズシテ、民相率テ盜ヲナス、是盜ヤ上
始ニテ、之ヲ驅リ、其盜ニ入ルニ及デ、又從テ之ヲ
禁ジ、之ヲ戮ス、亦甚ダ憫ム可ラズヤ、今ノ一方ニ

司牧タル者、盜ヲ教化スル能ハズ、盜ヲ養給スル
能ハズ、其盜ヲ弭ルヲ善トセザランヤ、之ヲ弭ル
ニ、其術ヲ得バ、盜アリト敢テ逞フセズ、久クシテ、
漸ク農桑ヲ事トシ、遂ニ化シテ良民ト為シ、孰カ
其教ト養ト、遂ニ弭ルノ内ニ、默寓スルヲ知シ
ヤ、鴻故ニ曰ク、盜ヲ緝ルヨリ、盜ヲ弭ルヲ善トス、
然レト未事ノ防ト既事ノ獲ト、偏廢ス可ラズ、其
盜ヲ緝ル事ハ、又必ズ捕役ニ在リ、夫捕役モ亦賊
ナリ、上ニシテ、其使フ所以ヲ知ラズ、下ニシテ、承
ル所以ヲ知ザレバ、其可ナルヲ見ズ、上使フ所以

ヲ知ザレバ、差遣ニ人アリ、限期ノ立ツ有テ、賊終
ニ一獲セズ、下承ル所以ヲ知ザレバ、賄縦ヲ是圖
リ、良民ヲ誣ルノ害ヲ致シテ、賊反テ倚テ援ト為
ス、是捕役ナリ、原盜ヲ緝ル所以ニシテ、其之ヲ緝へ、
又從テ之ヲ縱シ、之ヲ蔽フニ及バ、亦甚ダ惡ム
可ラズヤ、今ノ上タル者、我其使フ所以ヲ虚ニス
ルコトナク、彼其承ル所以ニ負クコト無ラント欲セ
バ、其善ク馭ヨリ先ナルハナシ、之ヲ馭スルニ、其
道ヲ得バ、盜アリモ容ルコトナク、久クシテ、卒ニ擒
ニ就クコトヲ致シ、遂ニ盜ト仇ヲ為テ、肯テ失ハズ、

其初メ犯ヲ獲ルニ望ミ、藉テ吾使フニ過ザルノ
ミ、孰カ其上ト下ト、遂ニ緝ルノ内ニ、相感ズルヲ
知シヤ、鴻故ニ曰ク、盜ヲ緝ルハ、善ク捕役ヲ馭ス
ルヨリ、先ナルハナシ、所謂ル盜ヲ弭ルハ、保甲ヲ
力行スルニアリ、最モ盜ヲ用テ、盜ヲ緝ルニ在リ、
所謂ル善ク馭スルハ、能ク其用力ヲ得ルニアリ、
尤モ自ラ效スコトヲ爭テ、カヲ為ニアリ、保甲行ハ
レ、盜能ク用テ、何ノ盜カ弭可ラザラン、捕役其力
ヲ得テ、自ラ爭フコトヲ效セバ、又何ノ盜カ、緝フ可
ラザランヤ、鴻先ヅ其緝ヲ言テ、後弭ルノ事ヲ言

ハン

失事

夫失事ノ莊村ニアル者アリ、道路ニアル者アリ、
 白晝ナル者アリ、黑夜ナル者アリ、莊村ニ在ル失
 事ハ、何ノ方ヨリ來リ、何ノ方ニ去ル、柵門ノ開閉、
 鄰佑ノ知覺、街防ノ救護、本家鑼ヲ鳴シ、叫喊マ
 ト、何レヨリ院ニ入り、明火仗レ、執ルト、人ノ多少
 ト、何物ヲ劫シ去ルト、遺ス所ノ油、燃器、械ト人ヲ
 傷シ、人ヲ姦スルト、來去是何ノ時分、日前色目人
 ナリヤ、窺探、踪跡スルヤ、問ベシ、道路ニアル失

事ハ何ノ處ノ人、某ノ姓名、何ノ處ヨリ發脚シ、何
 ノ生理ヲ作シ、或ハ自己ノ牲口カ、或ハ僱寫ノ驟
 頭カ、何ノ處ニ往ント欲スル、同行ノ主僕幾人ゾ、
 身ヲ防グ器械アリヤ、馱載スルハ、是何ノ行李、貨
 物ゾ、一路曾テ歹人ノ尾隨スルアルカ、自宅曾テ、
 何ノ處ニテ露白シ、何等ノ人アリテ、看見スルカ、
 今早何ノ處ヨリ身ヲ起シ、敬家ハ是何ノ姓名ゾ、
 劫サル、處ハ、是何ノ地方、是何ノ時候ゾ、賊ハ何
 ノ方ヨリ來ル、共ニ幾人アルゾ、騎坐ハ是何色ノ
 馬匹ゾ、持スル所ハ、是何ノ兵器ゾ、賊ハ、是何ノ裝

東語音ハ曾テ、其面貌ヲ記スルカ、劫去スルハ、是
何ノ財物ゾ、人ヲ傷スルカ、近莊守堡ノ兵丁居民
ノ救護スルカ、傍人ノ看見スルカト問ベシ、若シ
白晝ナレバ、必ズ道路ニ係ラバ、人數明メ易シ、去
路馬ニ蹄痕哨道アリヤ、亦跟追シ易シ、速ニ馬歩
捕快ヲ遣リ、營哨ニ會同シ、飛騎追擒スベシ、一面
ハ馳會ノ去ル所附近ノ州縣擒捕ニ協同シ、但落
單ヲ得、及ビ馬乏クシテ、前進スル能ハザル者、其
一人ヲ獲テ、傷害ス可ラズ、此活口アレバ、餘盜盡
ク緝シ難カラズ、夫レ響馬何ノ處ニ躡著シテ、手

ヲ下スベキ、多クハ預メ先駐防ノ兵弁ニ買通ス
ルアリ、之ヲ借道ト謂フ、下手ノ處、所防ノ營堡ニ
偏近ナルモ、劫ヲ行フノ時、救護ヲ為サズ、其飽賜
スルニ及デ、故ニ追狀ヲ作ス、惟其已ガ速ニシテ、
彼ガ慢ナルヲ恐ルレバ也、甚ダ恨ムベク、笑フ可
ラズヤ、若シ黑夜ナレバ、多クハ鄉村ニ係ル、其盜
ニ把風ノ人アリ、財物ヲ收拾スル人アリ、人ヲ禁
制シ、走動聲張セシメサル人アリ、驚懼ノ中、確數
ヲ明ニシ難シ、莊村ノ夫事ハ、本縣州ノ民人ニ係
ル、自ラ敢テ張皇妄報セズ、報呈ヲ具シテ、事主隣

佑莊地等ノ口供ヲ取明シ、印官親ラ其處ニ詣リ、
 前問逐項供スル所ト相ヤ否ヲ驗明スベシ、如シ
 傷セラレ、アレバ、傷スル所ノ輕重、其要害ニ
 中ルヲ驗明ス、盜ヲ勘ル、既ニ真ニシテ、方ニ具
 文申報スベシ、道路ノ失事ハ、必ズ往來ノ商客ニ
 係ル、或ハ本ヲ借テ經營シ、或ハ財東ノ本銀ヲ領
 シテ貿易スル、其中恐クハ奸詭アリ、荒野無人ノ
 地、五更夜静ノ時ニ乘ジテ、盜マル、ト聲言セバ、
 何ノ處ニ誓查セン、且ツ早起程ニ登リ、塚ニ迷失
 シ、遂ニ鳴控シテ官ニ到リ、遽ニ店主偷竊ト稱ス

ル者アリ、甚キハ夜間同伴相争ヒ、酔後頭臂ヲ跌
 蹠シ、傷痕ヲ裏有シテ盜マル、創ヲ受ルト、捏稱ス
 ル者アルニ至ル、輕ク報呈ヲ信ズ可ラズ、盜マル
 情由ヲ逐項供ヲ取ルベシ、尤モ親ラ旅寓ニ至リ、
 其行李ノ破損箱塚ノ毀裂スルト、存スル所ノ貨
 物狼藉タルト、傷ヲ受ルノ人、是何ノ器械ノ傷ス
 ル所ゾ、是新痕ナリヤ、衣襟血汚ト、其身ヲ防グ兵
 器弓箭、是何ノ字樣、何ニ因テ賊未ダ搶去セザル
 ヲ驗スベシ、盜ヲ勘スル、既ニ真ニシテ、方ニ具
 文申報スベシ、若シ人少クシテ兇器ナケレバ、白

晝黑夜ニ論ナク、俱ニ搶奪トナス、盜劫ト作テ、申
報スルヲ得ズ、若シ強盜劫ヲ行フキ、莊村事主知
覺シテ趕散シ、財ヲ得ルヲ經ザレバ、亦財ヲ得ル
ト科トガヲ同フセズ、報文趕散ノ情由ヲ申説明白ス
ベシ、

緝捕

賊ヲ緝ルノ事ハ、專ラ捕役ニ在リ、營兵ト協緝ス
ル者アリ、大ニ是事ヲ悞ル、夫營兵ハ賊ヲ借テ、民
ヲ擾ルニ過ギズ、而モ捕役又兵ヲ指テ過ヲ卸ス
コトヲ得バ、何ノ益有ンヤ、專ラ捕役ヲ差シテ、方ニ

責成

アルニ若カズ、夫レ捕役ト賊ト、聲氣素ト通
ズ、其賊ノ來去方向、劫ヲ行フ情形、持スル所ノ器
械、人數ノ多寡、只失主ニ問明スベシ、彼已ニ成算
ノ胸ニ在アレバ、斷シテ獲ザルノ理ナシ、但賊ニ
新アリ舊アリ近アリ遠アリ、已ニ逃ルアリ、未ダ
逃レザルアリ、瞭望風ヲ把リ、門ヲ截チ火ヲ持ツ
ハ、多クハ新賊ナリ、人ヲ傷シ賊ヲ劫シ、出ルニ臨
テ後ヲ斷ハ、多クハ舊賊ナリ、心ヲ起シテ首ヲ倡
ヘ、線ヲ引キ窩ヲ作スハ、皆近賊ナリ、勾來セラレ
夥ニ入ル、亦多クハ遠賊ナリ、劫後他方ニ躲避シ

テ、風ヲ聽クハ、其已ニ逃ル、ナリ、叔後放心シテ、
 家ニ在ルハ、膽大ニ非レバ、即チ無知ナリ、是未ダ
 逃レザル賊トス、其新賊近賊ト未ダ逃レザル賊
 ハ、即チ獲マシ、其遠賊ト、已ニ逃ル賊ハ、現賊ヲ獲
 テ、遠賊ノ姓名住址並ニ逃賊ノ去向ヲ知ルヲ供
 出スルヲ俟テ、然ル後緝批ノ闕文ヲ給シ、的役ヲ
 差シテ、揆捕スベシ、賊既ニ捕獲スレバ、又必ズ失
 主報ズル所ノ、真賊ヲ起スヲ以テ據トナス、若シ
 真賊ナケレバ、盜罪ヲ定メ難ク、盜モ亦硬坐シテ、
 真盜ト為スヲ得ズ、凡ソ失事ノ後、盜ハ即獲ニ宜

キノミナラズ、賊モ亦即起スベシ、印官萬ニ遲延
 シテ自ラ悞ル可ラズ、但賊ニ分ヲ多クスルアリ、
 分ヲ少クスルアリ、細ヲ分ツアリ、粗ヲ分ツアリ、
 現在アリ、花費アリ、藏匿アリ、抵換アリ、別得アリ、
 首ト為テ線窩シ、遠ク勾來セラル、者皆分多シ、
 風ヲ把リ門ヲ截チ、新夕ニ道ニ上ル者皆分少シ、
 黠盜ハ細ヲ分チ、弱盜ハ粗ヲ分ツ、或ハ之ヲ家中
 ニ置キ、或ハ之ヲ官典私當ニ質スハ、皆現在トナ
 ス、或ハ之ヲ市集ニ鬻ギ、或ハ嫖賭ニ准折スルハ、
 皆花費トナス、其積年ノ狡賊ハ、賊アルヲ以テ、罪

ヲ定ムレバ、肯テ贓所ヲ實供セズ、是ヲ藏匿トナ
 ス、其奸膽ノ捕後真贓ヲ起獲スレバ、舊ヲ以テ新
 ニ易ヘ、惡ヲ以テ美ニ易フ、是ヲ抵換トナス、又起
 出ノ物盜家ノ有ベキ所ニ非ラズ、又失主ノ贓ニ
 非ルアリ、是ヲ別得トス、夫レ起獲多クシテ、細ナ
 ル者ハ、其首窩等ノ贓タル疑ナシ、少クシテ粗ナ
 ル者ハ、其新弱ノ贓タル疑ナシ、若シ失主ノ報ズ
 ル所ヲ照シテ、起贓僅カニ粗少ヲ獲レバ、必ズ多
 細ヲ分ツ所ノ首窩等ノ黠賊アルヲ、又疑ナシ、但
 現在ノ贓ハ猶之ヲ家中ニ起シ、之ヲ典當ニ問ベ

シ、花費ノ贓準折シテ、久カラザレバ、猶ホ博局青
 樓ニ于テ展轉根究スベシ、惟市鬻ノ贓ハ、若シ買
 主ヲ贓識認セザレバ、途人ヲ執テ之ヲ問フ能ハ
 ズ、贓ヲ匿シ、實ニ指供セザルニ至テハ、之ヲ同夥
 ニ質ス、是其硬証ナリ、豈能ク到底深藏センヤ、最
 モ恨ムベキ所ノ者ハ、捕役抵換ノ贓ナリ、失主本
 物ニ非ルヲ以テ、敢テ冒認セズ、贓又別ニ一様ノ
 贓ナシ、既ニ捕役ノ手ニ入レバ、贓モ亦敢テ竟ニ
 指サ、ズ、是贓ハ真贓ナルモ、贓ニ真贓ナケレバ、
 此案又何ノ時ニ結センヤ、然レ氏盜惟本案一二

ノ真盜ヲ獲テ、餘盜盡ク獲難キナシ、賊惟本案
 一二ノ真賊ヲ起セバ、真盜之ニ從テ定ムベシ、而
 シテ餘賊ハ悉ク究セザルベシ、蓋シ真賊ヲ獲テ、
 方ニ能ク真盜ヲ定擬セント欲ス、故ニ一盜ヲ獲
 ル毎ニ、必ズ一盜ノ賊ヲ問フ、之ヲ失主ニ還サン
 為ニ、此ニ諄々タルニ非ズ、之ヲ總ルニ真盜真賊
 ヲ獲ント欲スルハ、必ズ捕役ヲ責成スルニアリ、
 捕役ヲ責成セント欲セバ、必ズ本官ノ善馭スル
 ニアリ、其善馭ノ方ハ、總テ鴻捕役ヲ遴ムノ一條
 ニ所謂ル、其才ヲ辨ジ、其心ヲ結ビ、其賞罰ヲ信ニ

スルニ外ナラザルノミ、印官タル者、能ク鴻が言
 ヲ以テ、謬リニ非ズトシ、試ニ是ニ依テ之ヲ行ヒ、
 若シ真盜獲ズ、真賊起ラズシテ、猶害ヲ無辜ニ板
 キ、他類ヲ以テ責ヲ塞グ者アラバ、是鴻印官諸先
 生ノ罪人タリ、然レモ治法ハ必ズ治人アリ、之ヲ
 行テ弊ナキノミ、
 賊ヲ擒スルノ秘訣ハ、惟密速ノ二字ニアリ、此輩
 中ノ響窩巨盜平日官府ノ左右親近吏胥頭後ト、
 交結往來シ、地方ノ豪棍駐防ノ營弁ニ及ブマデ
 相與一親厚ス、凡ツ官府ノ一動一靜稍彼が事機

ニ涉リ、其黨羽ニ于ル者アレバ、皇馳潜報セザル
ナシ、故ニ此輩ノ神通最モ大ニ耳目最モ捷シ、若
シ官府事ヲ行テ、少ク謹マズ、風聲ヲ露洩シ、時刻
ヲ逗留スレバ、高ク舉リ、遠ク賜リ、踪跡スベキナ
シ、地方ニ此等ノ大盗アルハ、天上ニ一種大魔ノ
天條ヲ干犯スルニ非ルモ、法寛宥シ難キ者アル
ガ如シ、上天モ亦肯テ輕ク動カズ、正ニ此魔ハ、神
通廣大許多ノ天兵天將ヲ調ルニ非レバ、剪除ス
可ラザルヲ以テナリ、但暗ニ此ノ種ヲ查スベシ、
或ハ是本地ノ人民、或ハ地方ノ寄住ニ係リ、只別

處ニ往テ非為シ、境内ニ在テ擾害セズ、且ツ人ノ
告發スルナク、實跡ノ指ベキナケレバ、切ニ亦輕
動ス可ラズ、正ニ大魔擒捉セズ、小魔ヲ號召シテ、
跳梁セシムルヲ恐ル、申報ヲ行ント欲スレバ、師
ヲ出スニ名ナシ、戰ヲ息メ、兵ヲ罷ント欲スレバ、
彼レ上臺呼籲スルヲ得ル、此ヨリ上下紛々多事
心思ヲ攪亂ス、又那ヅ許多ノ天兵天將之ヲ對付
スルヲ得ンヤ、若シ果シテ地方此等ノ大盗アリ、
或ハ人ヲ殺スニ係リ、或ハ財ヲ劫スニ係リ、人ニ
指告セラレ、或ハ明カニ是渠ナルヲ知ルモ、敢テ

直ニ指サズ、印官問得テ極テ真ニ訪ヒ得テ極テ
確ク原告及ビ心腹一二人之ヲ知テ除却スレバ、
此外更ニ與リ聞フヲ得ズ、或ハ潜ニ細作ヲ遣リ、
預メ偵探ヲナシ、印官捕快人役ヲ率領シ、名ヲ他
事ニ借リ、其不意ニ出テ親ク自ラ擒拿ス、但正身
ヲ得バ即行回浴ス、拿スルニ隨テ審ベ、審ルニ隨
テ解ス、尤モ密ニ上官ニ稟シ、迅ク定案ヲ為テ大
懲ヲ剪リ、地方ノ為ニ害ヲ除クベシ、斯レ密速ノ
二字ニ非ズシテ、能ク之ヲ行ンヤ、如此大盜又區
々タル捕役ノ辨ズベキニ非ズ、且ツ賊黨星馳潜

報ノ人ヲ免レ難シ、印官密速親擒スルニ非レバ
不可ナリ、

盜ヲ審ブ

盜審ベ難カラズ、捕役盜ヲ緝ルニ于テ根上清楚
ナランヲ要ス、何ヲカ根上清楚ト謂フ、本地ノ盜
豈止ニ數十家ノミナラン、此數十家豈皆劫ヲ行
フ、此案ノ盜ナランヤ、捕役止、此案ノ盜ヲ獲ルキ、
此案ノ盜ヲ放却セザレバ、更ニ他盜及ビ拘摸ノ
小偷ヲ拿テ、責ヲ塞グ、若シ他盜及ビ小偷ヲ拿フ、
是賊ナラザルニ非ズ、之ヲ以テ此案ニ填入スレ

バ、固ヨリ不可ナリ、嚴刑其ヲシテ供認セシムル
 モ、彼實ニ情ヲ知ラズ、拷殺スル、他ヲシテ何ノ處
 ニ供起セシメン、捕役既ニ此案ノ真盜ヲ得バ、止
 他ヲシテ夥盜ヲ供出セシメ、緝拿スベシ、却テ又
 他ヲ唆シテ、平人ヲ唆拔セシム可ラズ、捕役ノ意
 ニ在テハ、或ハ彼ト嫌アリ、其ヲ借テ忿ヲ洩スニ
 過ギズ、或ハ其殷實ヲ窺ヒ、其資財ヲ利スルニ過
 ギズ、平人面上又字跡ナシ、官何ニ由テ知ラン、既
 ニ彼ヲ稱シテ盜ト為セバ、方ニ盜タルノ恨ムベ
 キヲ視テ、嚴刑之ニ加フ、良民刑ヲ畏レ已ムヲ

得ズシテ誣服ス、之ヲ以テ夥ヲ認レバ、同夥ト曰
 フ、之ヲ以テ贓ヲ認スレバ、是贓ト曰ヘバ、冤何ニ
 從テ辨ビンヤ、彼問官視テ真盜ト為シ、或ハ之ヲ
 上司ニ解スルキ、満口冤ヲ呼ブ、上司之ヲ夥盜ニ
 問フ、夥盜良心發現シ、遽カニ實ハ同夥ニ非ズト
 稱シ、惟上司官賣放シ、良民ヲ誣害シテ、糾劾ヲ致
 スカト疑フノミナラズ、本官又從頭賊ヲ拿ヘ、從
 頭審理セバ、多事ナラズヤ、然レモ或ハ賊上司又
 州縣ノ刑ヲ動スヲ畏レ、冤ト稱スルモ益ナシ、首
 ヲ俛シテ原招スレバ、良民不日ニ盜犯ト同ク重

典ニ係ル、陰司問官一簿ヲ上セテ、死後填還スル
 ヲ免レズ、此猶ホ其來世ノ事ナリ、若シ真盜網ヲ
 漏レ、或ハ他處ヨリ拿住セラレ、真贓ヲ搜獲シ、此
 案ヲ供出スルキ、一旦具題スレバ、現前燦然スル
 ノ項爛然タルノ補服寧ゾ其必ズ在ルヲ保ンヤ、
 捕役拿到スル真賊、只官ノ審問ヲ聽クベシ、預メ
 先ヅ私カニ弔拷ヲ行フ可ラズ、捕役ノ私拷
 醋サノ諸刑ア判極ス、收シ若シ他ヲ嚇シテ錢ヲ
 捨ト謂フ、慘毒ヲ備極ス、收シ若シ他ヲ嚇シテ錢ヲ
 要スルハ、猶是捕人ノ常態、若シ他ニ逼テ盜ト供
 スレバ、彼豈肯テ此案ノ真盜ヲ供招セシメンヤ、

又必ズ伊ガ仇恨ノ平人ト、殷實ノ良懦ヲ將テ、門
 ニ進ムノ盒子ト做シテ、捕人ニ奉承セシム、捕人
 差ヲ奉ジテ、賊ヲ緝スル原ト主名ナシ、人ニ逢ハ
 バ、拿スベシ、况ヤ之ヲ盜口ニ出スヲヤ、于是盜ヲ
 帶テ眼ト作シ、其室ニ入り、房ヲ穿ツモ、誰カ敢テ
 攔阻セン、其人ノ家財細軟、搜掠一空ス、捕役其厚
 利ヲ得テ、心ニ是匪人ナラザルヲ知レバ、反テ乾
 情ヲ作シ、親友ヲ聽尋シ、立口ニ饒約ヲ討シテ、保
 領シテ放還セシム、其人命ヲ得レバ、已ニ生全ヲ
 俸ヒトス、猶復夕已ニ失フ財ヲ計ンヤ、盜ノ仇恨

貧フシテ錢買ナキニ至テ、捕役又拷逼ヲ加ヘ、道ニ上ル情形ヲ認寫シ、方ニ官ニ到テ辯理センヲ冀フ、如何ヒスルナシ、盜鐵口硬証スハ、問官尤モ指シテ狡賊嚴刑ニ非レバ、招セザルト為シ、夾棍邊扛緊擺狠敲ス、彼石骨銅筋ニ非ズ、焉ゾ滿口招承セザル者アランヤ、彼惡盜ノ忍心如レ此所以ノ者、其故ニアリ、事主報ズル所ノ數、及ビ盜供ノ夥緝獲踪ナシ、人滿ザルニ非レバ、其仇ヲ以テ實シテ捕役ノ比ヲ寬ニス、其仇既ニ數ニ填ル可レバ、真盜網ヲ漏ヲ得ル、錢アル者留テ資助ト為シテ、

監ニ在テ使費ス、有ノ者留テ上司衙門ノ打點ヲ為シテ、展脱ヲ圖ル、彼が似キ神奸ノ作ス所、問官豈能ク盡ク知ンヤ、往々強盜捕人ノ為ニ、劊子手ト作ルノミ、亦愧ヅ可ラズヤ、此皆所謂ル根上清楚ナラザルナリ、夫レ清楚ナラザル所以ノ者ハ、捕役ヲ用ルノ其人ニ非レバナリ、新進無知、或ハ誤拿及ビ盜ノ誣扳ヲ、信ズルノ事アランヤ、老成積慣ノ若キハ、惟本地ノ盜賊、誰カ強誰カ竊、彼レ一タビ金ヲ掌ニスレバ、倒背ス可ノミナラズ、他方匪類面前一過スレバ、是新是舊便チ骨髓ヲ看

穿^{セン}スベシ、豈果シテ良^{リキ}ト為テ誤^ゴ拿^ダシ、盜ノ拔¹ヲ信
ジテ、誣^フスル者アラシヤ、政²ヲ為ス者、既ニ捕役ノ
オヲ辨シテ、能ク捕役ノ心ヲ結³ビ、能ク捕役ノ賞⁴
罰⁵ヲ信⁶ニセバ、盜ヲ緝⁷ルノ根、未ダ清楚ナラザル
者アラズ、根既ニ清クシテ盜ヲ審ル、又何ゾ難カ
ンヤ、

刑律明要卷二終



